

読書を しよう!

★青少年アンビシャス運動は「アンビシャスな青少年を育むための7の提案」を掲げ、実践しています。今回はそのうち「読書をしよう!」にあてはまる活動について取り上げています。

赤ちゃん和絵本～乳幼児期の読書の大切さ～

近畿大学通信教育部非常勤講師

河井 律子



河井 律子先生

「赤ちゃんに絵本を読んでやってわかるの?」と思っている人もいらっしゃるのではないのでしょうか。生まれてすぐの赤ちゃんは、ミルクを飲んで、ただ寝ているだけのようですが、実は、生まれたときから、周りのいろいろな刺激と積極的に関わり合いながら、人間として生きていく上で必要な様々な能力を獲得しようとしているのです。赤ちゃんが、言葉を獲得し心を成長させるこの時期に一番大切なことは、周りの大人が直接たくさん話しかけてあげることです。そして、獲得され始めた言葉は、絵本との出会いによって、さらに豊かになります。母親や周りの大人が、赤ちゃんに本を読んであげると、赤ちゃんにとって直接語りかけてもらうことと同じだと言われています。

赤ちゃんに絵本を読んであげると、読み手の顔や口をじっと見つめたり、絵本に手を伸ばしてきたり、にっこり笑ったりと様々な反応を見せてくれます。それを見ると、赤ちゃんが絵本を楽しんでいることが分かります。

赤ちゃんは「絵本を読んでもらう」という心地よい体験を通じて、読み手に信頼感を持つようになります。また、読み手も赤ちゃんの気持ちを感じ取ることができるようになります。絵本を楽しむことで一番素晴らしいことは、互いの心を通い合わせることができるということです。

赤ちゃんが、寝返り、お座り、よちよち歩きと成長していく中で、絵本の楽しみ方も変わってきます。同じ本を何度でも読んでもらいたがったり、知っているものが出てくると、しきりに指さしをしたりその反応も変わってきます。それは、子どもが成長しているからです。だからこそ、乳幼児期には、赤ちゃんに寄り添って、ゆっくり絵本を読み、親子の信頼関係を育てながら、子どもたちが将来、読書に親しむための道筋を作ってあげてほしいと思います。

おはなしアリス

子どもたちに「生きたことば」を届けたい

おはなしアリスは、多くの子どもたちに「生きたことばを届けたい」、そんな気持ちを胸に活動を続け、来年で15年目を迎えます。グループ名のアリスは“ことばの種まき”を意識して「ルピナスさん」(ほるぷ出版)という絵本からいただきました。現在は、絵本専門士でもある代表を含めメンバーは8人、北九州市の子ども図書館や小倉南図書館、親子ふれあいルーム、子ども総合センターの一時保護所等で活動しています。

わらべうたに合わせて、お父さん・お母さんの膝の上で笑顔いっぱい手足をパタパタさせて喜ぶ0歳児や、トコトコと歩み出て読み手の絵本に指差しをする1歳児、絵本の中のことばを真似て体現する2歳児、口をぽかんと開けておはなしに聞き入る3歳児など、絵本の読み聞かせを通じて、子どもたち一人ひとりの反応や変化、成長ぶりを感じることができる時間は、私たちにとってかけがえのないものです。

私たちは、幼い頃から人の声を通じて絵本を楽しんだ子どもは、いつしか本を読むことが好きになり、生き生きとしたことばを身につけてくれると信じて活動しています。それは、地面にじわじわと水が浸み込み、種から芽が出て、葉が出て、花が咲くように、時間のかかるものかもしれませんが、将来、たくさん子どもたちの笑顔に出会えることを楽しみに、これからも一冊一冊丁寧に選書することを心がけていきたいと思います。

- 代表者: 尾場瀬 淳美
- 所在地: 北九州市小倉南区 徳力1-1-1-205
- 連絡先: 093-963-3718

子どもたちは
絵本に夢中



絵本コンシェルジュに聞きました!

親子のふれあいを大切に

20年近く子どもたちに読み聞かせをしてきましたが、絵本コンシェルジュ養成講座の受講をきっかけに、「子どもにとって一番身近な大人に絵本に興味をもってもらいたい」と感じるようになり、親子で楽しめる読み聞かせ会を開催するようになりました。



筑豊地域で活躍する
一丸さん(左)と深堀さん(右)

読み聞かせ会では、「おひざにだっこ」で、季節のうたを歌ったり、わらべうた遊びをしたり、一緒に絵本を読んだりしています。お互いのぬくもりを感じながら子どもにたくさん語りかける、親子のふれあいの時間を大切にしています。また、大人に絵本の魅力を伝えるため、大人を対象とした読み聞かせ会や、ピアノの生演奏とともに絵本を楽しむお話しコンサートなどにもチャレンジしてきました。

絵本コンシェルジュとして、このような幅広い活動ができた理由の一つとして、北九州教育事務所の家庭教育支援チームという活動拠点があったことです。地域の図書館や子育て支援センターなどと結びつくことができ、他の市町村からの依頼も増えました。

子育てにおいて、子どもを抱っこできる時間は本当にわずかです。今後も、より多くの方にこの「至福の時間」を肌で感じてもらい、この時間がいかに貴重で大切なものであるか改めて気づいてもらえるよう頑張っていきたいと考えています。

～絵本コンシェルジュ実践交流会を開催します!!～

絵本コンシェルジュの皆さんを対象に、講演や実践発表、意見交換を行う実践交流会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています!

- 講演 「子どもとメディア」 前園 敦子 先生
- 日時 令和2年3月15日(日) 13:30～
- 場所 福岡県吉塚合同庁舎 603AB会議室